

基調講演



小林 史明（こばやし ふみあき）

衆議院議員（広島7区） / 内閣府大臣補佐官

自民党デジタル社会推進本部事務総長

自民党前青年局長

元総務大臣政務官 兼 内閣府大臣政務官

「テクノロジーの社会実装によりフェアで多様な社会を実現する」を政治信条に、規制改革に注力。党デジタル社会推進本部事務総長として、デジタル改革関連法成立に向けて「デジタル庁創設に向けた提言」をとりまとめた。

党第50代青年局長を務め、組織のデジタル化を推進し、局の規約改正を行い、非常時はオンラインでの議決が可能とした。

その他、党行革推進本部で規制改革チーム座長、デジタル社会推進特別委員会で各種小委員長を務め、漁業改革、公務員制度改革、デジタル規制改革をもたらす提言などをまとめている。

第3次安倍改造内閣・第4次安倍内閣においては、総務大臣政務官兼内閣府大臣政務官として、電波・放送・通信関連の規制改革を推進した。



久米 雅雄（くめ まさお）

大阪芸術大学客員教授

寧楽美術館評議員 中国西泠印社名誉社員

大阪芸術大学客員教授（日本美術史・東洋美術史・アジア印章史など）

1948年、愛媛県松山市生まれ。

1970年、立命館大学文学部史学科卒業後、大阪府教育庁文化財保護課専門行政官（考古学・美術工芸）を経て、2008年より大阪芸術大学客員教授。2001年に博士号（文学、立命館大学）を取得。2014年以来、中国西泠印社名誉社員、現在に至る。この間、国立歴史民俗博物館研究部調査協力者、九州国立博物館設立準備室常設展示専門委員などをつとめた。

著書に「日本古代印研究」（国立歴史民俗博物館、1999）、博士論文『日本印章史の研究』（雄山閣、2004）、『はんこ』（法政大学出版局、2016）、「日本花押與戦国大名印章」（西泠印社、2018）、「日本の印章の歴史的役割と電子化への道」（『月報司法書士』日本司法書士会連合会、2021年2月号）などがある。ほかにテレビでは「金印の読み方は“かんのいとこくおうだった”」（BS-TBS『諸説あり』2018年8月18日）、「ハンコ廃止をどう実現？河野行革相、霞が関改革着々」（TBS系MBS『ひるおび』日本のハンコ文化について 2020年9月29日）、新聞では「ハンコと日本人」（朝日新聞Bereport 2020年10月31日）、「この人に聞きたい『脱はんこ 本当にいいの？ 古代から続く『信用の担保』』（北日本新聞 2020年12月7日）など多数の取材をうける。白川静賞受賞（2010）。第15回松本清張研究奨励事業入選（2013）。



橘 大地(たちばな だいち)

弁護士ドットコム株式会社 取締役
クラウドサイン事業部長

弁護士でもあり、弁護士ドットコム（株）に入社するまでは企業法務を専門とした弁護士業を行っていた。

2015年に同社入社後、リーガルテック事業「クラウドサイン」の事業責任者の他、ブロックチェーン技術を活用した「スマートコントラクト・システム」、AIなどのリーガルテック事業の研究開発を担当している。2019年取締役就任。

モデレーター

庄司 昌彦(しょうじ まさひこ)

武蔵大学社会学部 教授
情報通信学会理事

武蔵大学社会学部教授、国際大学GLOCOM主幹
研究員、東京大学大学院情報学環客員研究員。中央
大学大学院総合政策研究科博士前期課程修了、修士
(総合政策)。専門は情報社会学、情報通信政策。
総務省「自治体システム等標準化検討会」座長、
総務省「地方自治体のデジタルトランスフォーメー
ション推進に係る検討会」座長なども務めている。